

売れています！完売になる前にご予約ください！

“バッハへの道”

200年の、豊穡なるヨーロッパ音楽紀行

「クラシック音楽の父」と呼ばれるバッハだが、事実とは異なる。中世、ルネサンス、そしてバロック時代という、長い長い道のりを経てようやくバッハへと至るのである。今回パンドルフォがとりあげるのは、後期ルネサンスから初期古典派の音楽家たち。彼らの音楽とバッハを比較することで、バッハへと至る道、そしてバッハからの道もまた示されるであろう。2世紀にまたがる豊穡かつ余りに多様なガンバの黄金の宇宙へ！

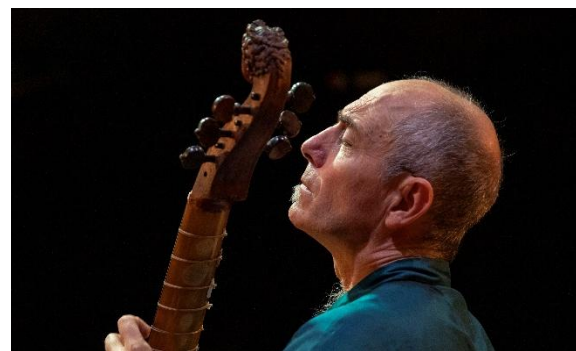
エマ・カークビー、リナルド・アレッサンドリーニ、エンリコ・ガッティなどと共演

巨匠サヴァールの薫陶をうけ、世界中で尊敬される名匠中の名匠

EMI、フィリップス、ハルモニア・ムンディなどのメジャーレーベルに数々の名盤を録音
ディアパソン・ドール、グラモフォン誌年間最優秀録音賞を始め無数の賞を受賞した偉人

パオロ パンドルフォ

with アメリ・シュマン (ヴィオラ・ダ・ガンバ・デュオ)



ガンバの歴史を“一気にひもとく”この知的興奮！

イギリス(後期ルネサンス): トバイアス・ヒューム、C.シンプソン

フランス(ルイ13世から15世): サント・コロンブ、フォルクレ

ドイツ(バロックから古典へ): J.S.バッハ、シャフラート 演奏曲は本チラシ裏面に記載

2026年9月13日(日) 14:00開演(13:30開場)

PHILIA HALL

フィリアホール (東急田園都市線・青葉台駅直結(徒歩3分) 青葉台東急スクエア South-1 本館5F)

全席指定 6000円

◎Web www.philiahall.com (24時間) ◎電話: フィリアホールチケットセンター 045-982-9999 (11:00-18:00 第3水曜休館)

その他のプレイガイド: チケットぴあ / オフィス山根

■曲目・出演者・料金・発売日等やむを得ず変更させていただく場合があります。■青葉台東急スクエアの駐車券のサービスはございません。■車椅子席をご希望の方は、チケット申込の際お知らせください。■チケット定価に含まれない諸手数料等は、公演の中止・延期等におけるチケット料金の払戻しの対象にはなりません。何卒ご了承ください。

フィリアホールのネット予約は右のQRコードから→



【主催】オフィス山根 【共催】フィリアホール(横浜市青葉区民文化センター)

フィリアホール
公演詳細ページ

— 天上の歡び —

ヴィオラ・ダ・ガンバ200年の黄金の歴史
～ イギリス、フランス、ドイツ音楽史紀行 ～

イングランド

エリザベス1世からチャールズ1世へ — 後期ルネサンス

トビアス・ヒューム (?-1645)

アルメイン

ザ・スピリット・オブ・ガンボ

クリストファー・シンプソン (?-1669)

へ長調のディヴィジョン (二つのディヴィジョン・ヴィオールのための)

フランス

ルイ13世からルイ15世へ — 極度の洗練

ムッシュー・ド・サント＝コロンブ (?-1701?)

二つの同格ヴィオールのためのコンセール 第44番

(トンボー〈嘆き〉—鐘あるいはカリヨン—カロンの呼び声—嘆き—エリュシオンの歡び)

フォルクレ

『三つのヴィオールのための小品集』より(リール市立文書館 MS135)

アルマンド — サラバンド — クーラント

(2本のヴィオールのための編曲:パオロ・パンドルフォ)

ドイツ

ケーテンからベルリンへ — バロックから古典派へ

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750)

前奏曲とフーガ

BWV1011 / BWV995

(2本のヴィオールのための編曲:パオロ・パンドルフォ)

クリストフ・シャフラート (1709-1763)

二つのヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。